

## 事業所における自己評価結果（公表）

### 児童発達支援

公表：令和2年12月10日

事業所名 生活クラブあのねのお家

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
①	利用定員が指導訓練室等 スペースとの関係で適切 である	9		定められた基準を十分に満たしています。広めのサニタリールームを利用して、オムツ替えやお着換えスペースを確保しています。クールダウンスペースにすることもできるように、ゆったり椅子や台座も配置しています。 また指導訓練室での療育に限らず、施設の基本の柱の一つとして「自然とふれあう」を掲げています。基礎体力作りや歩行訓練、集団行動の中での仲間づくりを目的に様々な公園に歩きや車で出かけたり、栗ひろい、芋掘り、消防署見学などの外遊びを日々のプログラムに取り入れています。	
②	職員の配置数は適切である	8	1	職員配置基準より多く配置しています。活動内容や障がい特性によって増員するなど、臨機応変に対応しています。基準配置では保育士と児童指導員に加え、作業療法士（常勤）、指導員を配置しています。言語聴覚士も含めてそれぞれの専門性を生かした療育プログラムを作成しています。 また、新規に通所を開始されるお子様に対しては職員との早期の信頼関係づくりや発達特性を把握し共有できるよう、一定の期間、多く配置しています。	今後はさらに情報共有の時間を確保し、企画・準備・実践までをよりスムーズに進めていくために常勤職員を増やします。

## 事業所における自己評価結果（公表）

### 児童発達支援

公表：令和2年12月10日

事業所名 生活クラブあのねのお家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいや特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされている	9		<p>入室するとまず手洗い場が正面にあり、隣にサニタリールームの入口があり、トイレに直行できるように配置しています。カーテンで仕切った着替えスペースに台座を置いています。ロッカー前はお仕度スペースと位置づけ、連絡帳を入れる赤いポストが目印になっています。朝の個別ワークタイムや個別に遊びに集中する時には、各自つい立てで集中できるスペースを確保したり、フロアマットで自分のスペースをわかりやすくしたり、畳スペースを活用しています。特にお昼寝のお子様にはカーテンを閉め、つい立てとコットでスペースを作ったり、お子様が好む場所をクールダウンスペースと位置づけ静かに過ごせるように工夫しています。</p> <p>施設内外ともにバリアフリーを施しています。情報伝達については絵カードや写真、個別の予定表、ジェスチャー、マカトンサインなど、障がい特性や発達に合わせて利用しています。</p>	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9		<p>明るい採光、暖色に心掛けるなどして、居心地のよい空間になっています。毎日の清掃では床、トイレ、テーブルやイス、玩具類などもせっけんやアルコール、次亜塩素酸水などを用途によって使い分け、清潔を保ち、心地よく過ごせるよう衛生的な環境維持に努めています。</p> <p>常に「整理整頓」し、体を動かす感覚運動遊びなど集団を意識した活動の時には、テーブルやイスを室外へ撤去したり、配置を変えるなどの工夫をしています。自由遊びの時間では活発に動きたいお子様と静かに過ごしたいお子様がそれぞれが心地よく過ごせるよう、空間を仕切りで分割するなどの工夫を行っています。</p>	

## 事業所における自己評価結果（公表）

### 児童発達支援

公表：令和2年12月10日

事業所名 生活クラブあのねのお家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9		情報共有・報連想の徹底を心がけて、職員同士の意思疎通を図るために、職員会議は全員出席しやすい日程にしています。目標設定の確認と振り返りは行っています。送迎を始めたことで、朝のミーティングでは目標確認と支援内容、役割分担等の確認事項を短時間で済ませるように工夫してきました。PDCAサイクルを意識した記録の取り方を意識することで、改善に向けた意見が出やすくなりました。共通認識・共通理解に今後も十分務めていきます。	振り返りでの意見交換の時間が長くなりがちなので、記録用紙をさらに改善していきます。常勤職員を増やすことでより役割分担を明確にしていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		日々、保護者の方の意見を確認しながら、支援に反映するようにサービス提供記録票(連絡帳)を今年度、新しく改善しました。作業療法士や言語聴覚士が個別ワークを監修し実施しています。団体の活動プログラムの立案など、それぞれの専門性を生かし、職員と連携しながら振り返りと改善に努めています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9		ホームページで公開しています。日々においても職員から支援の質を意識した意見が活発に出ています。現状への共通認識を高めて新たな目標としてまいります。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1		開所2年になりました。これまで評価機関による第三者評価は現在はありません。来年度に向けて予算の配分等検討します。

## 事業所における自己評価結果（公表）

### 児童発達支援

公表：令和2年12月10日

事業所名 生活クラブあのねのお家

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2	<p>今年度4回開催を予定していた明星大学教授の星山麻木氏を施設にお迎えしての「発達サポーター育星講座」は新型コロナウイルス感染防止の観点から延期し、星山先生のWEB講座への参加に切り替えました。内部では機能訓練士の個別支援の様子を職員が見学できるようにしています。さらに職員の得意とする分野を生かした職場内研修を12月に予定しています。事業所内での研修用にDVDや書籍を購入し、いつでも視聴できるよう配置しました。</p> <p>外部研修としては東京都や市内で開催される障がいにかかわる各種の研修講座等は誰もが学べるよう職員全員に紹介しています。また、WEB研修が主になってきたことを受けて、本人の研修参加希望を会議で精査し、判断するなど、研修の機会を確保しています。その他、法人としては職員資格取得支援事業に取り組み、毎年希望者を募っています。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染予防対策として、予定していた一斉研修が難しくなる中、WEB研修が主体となってきたことを踏まえ、職員の意見をもとにAV、オンライン等のスタイルで、職員の質の向上に努めてまいります。</p>
⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9		<p>アセスメントはお子様と保護者のニーズを分析するために言語聴覚士、作業療法士が同席し、必要に応じて簡易検査を行うことで、それぞれの見立てを持ち寄り、計画に反映するようにしています。</p> <p>支援計画見直し案に担当職員の意見がより反映できるように、個別ワークや支援経過の記録用紙を記録しやすいように工夫改善してきました。</p> <p>認知・言語促進プログラムを導入しました。</p> <p>お子様の発達状況、保護者のニーズをそれぞれの立場で把握・分析し、総合的に反映された計画となるよう作成しています。</p>	

## 事業所における自己評価結果（公表）

### 児童発達支援

公表：令和2年12月10日

事業所名 生活クラブあのお家

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	ご家族が感じているお子様の困り感（課題の要因）を深く探ることを目的として、感覚と動作についてのアセスメントを取り入れています。ヴァインランドⅡの要素を取り入れながら「あのお家」独自のものを作成しています。認知・言語促進プログラムを開始しました。必要に応じて構音検査も行っています。	認知・言語促進プログラムの実施に分析を生かして、今後の支援内容に反映してまいります。
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子ども支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9		「児童発達支援ガイドライン」に沿いながら作業療法士と言語聴覚士の機能訓練をプログラムに盛り込むことを事業所の特色としながら、個々のお子様の発達特性と成長に合わせて必要な支援内容を話し合いながら、具体化しています。今年度は「家族支援」の一つとしていた生活クラブ協同村キャンプ場で兄弟姉妹も家族ぐるみで参加できる交流会はコロナの影響で企画できませんでした。	「地域支援」の一つとして、施設の地域開放を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染防止のため、今年度は延期しています。
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	1	多様な発達状況のお子様の集団支援ではありますが、常にひとり一人の支援計画の主旨に沿った内容、声掛けなどを心がけています。 職員の共通認識・共通理解のもとで、支援内容が成長に沿って進展できるよう、日々のPDCAサイクルに合わせて対応できるよう支援経過の記録用紙を改善してきました	職員全員が常に支援計画を把握しながら、実践でしっかり具体化できるよう努めます。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		立案からグッズ作成まで個々の職員の専門性や特技を生かして全員が意見を出せる雰囲気を大事にしながら、協力してプログラム全体を組み立てています。	

適

## 事業所における自己評価結果（公表）

### 児童発達支援

公表：令和2年12月10日

事業所名 生活クラブあのねのお家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
切 な 支 援 の 提 供	⑮	活動プログラムが固定化 しないように工夫してい る	9		機能訓練士をはじめ、職員が日々活発 に意見交換を行い、ひとり一人のお子 様の「今」の興味関心の広がりを受け 止め、柔軟に発展できるように工夫し ています。また本人にとって一定期間 の「繰り返し」が有効となるプログラ ムについては、集中力の醸成やお子様 自身の螺旋状の発達における定着の時 期と捉えています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、 個別活動と集団活動を適 宜組み合わせる児童発達 支援計画を作成している	9		個々のお子様のストレングスを伸ば し、一日が変化のある良い刺激となる よう、自然の中での遊び体験を多くす るなどプログラムの組み立てを工夫改 善してきました。 1日の活動の流れの中に、個別の課題 に取り組む個別ワークタイムは機能訓 練士(作業療法士・言語聴覚士)の立 案の下で行っています。集団活動では 他者に意識を向け、集中して聞く力、 自分との違いを知ることで他者を尊重 する力、協力してできる達成感、心地 よい仲間関係や家族以外の人との信頼 できる人間関係の経験値を増やす、他 者との信頼関係を育むなかで安心でき る場から心の安定の場を体感できるよ うになるなど、集団への適応段階を意 識し、個々のお子様の発達の状況をみ ながら段階的に計画に盛りこむように しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で 必ず打ち合わせをし、そ の日行われる支援の内容 や役割分担について確認 している	8	1	送迎が始まり朝のミーティングでは、 確認事項を優先して行っていますの で、役割分担については事前に通知で きるように努めてきました。	内容や役割分担について、マ ニュアルやフォーマットを新し く作成し、限られた時間での打 ち合わせをさらに充実したもの にするよう、改善しました。
	⑱	支援終了後には、職員間 で必ず打ち合わせをし、 その日行われた支援の振 り返りを行い、気付いた 点等を共有している	9	1	振り返りを行い、良かった点改良すべ き点など次回につなげるようにしてい ます。プログラムに課題が見えた時 には、必要に応じてミーティングの時 間を延長し、活発な話し合いをしてい ます。	非常勤職員の限られた勤務時間 内では実施できなかったり終わ らないこともありますが、時間 内で開催し記録を取ることを優 先するよう改善します。

## 事業所における自己評価結果（公表）

### 児童発達支援

公表：令和2年12月10日

事業所名 生活クラブあのねのお家

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		個別ワーク記録と1日の支援記録を活用し、職員が閲覧確認して検証・確認しています。 日々の記録をとり、お子様たちの成長を確認しながら、プログラムの改善点があれば、違う角度から作りなおし、次のプログラムにつなげています。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	1	今年度は新型コロナ感染予防で通所を控えた期間があり、支援計画見直しの判断の時間をとっています。日頃から支援記録を重要と位置付けるとともに「ケース会議」で成長・発達の状態を確認し、判断しています。導入した認知・言語促進プログラムの分析・評価も生かしながら判断しています。	支援の中で観察に加えて成長・発達を客観的に分析・評価し、課題の抽出と見直しの必要性を判断してまいります。
㉑	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		参加しています。	
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		保健センターや子ども家庭支援センターの方々との情報共有の場に参加したり施設訪問をしていただき連携しています。	
㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	該当なし			
㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	該当なし			

## 事業所における自己評価結果（公表）

### 児童発達支援

公表：令和2年12月10日

事業所名 生活クラブあのねのお家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	該当なし			
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	該当なし		施設として直接かかわる移行支援の該当者はありません。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1	地域自立支援協議会子ども部会に参加し、他の事業所との意見交換や助言をいただく機会となっています。	職員が参加しやすい研修の機会を増やしていきます。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	6	新型コロナウイルス感染予防対策により、子どもの施設への訪問は行っていません。様々な公園に出かけて、地域の保育所のお子様と出会う機会を積極的に作り、挨拶など声を掛け合ったり、遊具の貸し借りを通して、コミュニケーションを経験する機会を積極的に作るように努めています。	今後の新型コロナウイルス感染拡大の様子を注視しつつ、子ども関連施設との交流の在り方を模索していきます。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2	（自立支援）協議会子ども部会には参加しています。	地域の子ども・子育て会議等が開催されることになれば、積極的に参加したいと考えています。



## 事業所における自己評価結果（公表）

### 児童発達支援

公表：令和2年12月10日

事業所名 生活クラブあのねのお家

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
⑩	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		サービス提供記録票(連絡帳)を、ご家庭の様子と施設での過ごし方が情報共有しやすい冊子型に改善しました。事業所内相談に限らず、お子様の気になる様子があれば、ご家族が気軽にメールや電話でも問い合わせやご相談していただけるように対応しています。 朝の登所時には家庭での様子や普段通っている幼稚園や保育園での変化などがあれば伺ったり、送迎希望のお子様は連絡帳に記載していただき、職員全員に伝えて当日の支援内容に反映するように努めています。 また、送迎時に限らず、見学や来所された際には、お子様の様子をお話ししたり、動画や写真での記録を見ていただくことも行っています。	
⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	3	2	家族支援の一環として、発達障がいについての知識と支援方法について学ぶ機会を提供するため、明星大学教授の星山麻木氏を迎えて「発達サポーター育星講座」を2020年度は4回企画をしていましたが新型コロナウイルス感染防止の観点から中止し、WEB講座のご案内に切り替えています。 また障がい児の親でもある職員たちが自らの経験や実践を保護者の方とゆっくり語り合う場を予定していましたが、実施時期を延期しています。	今後はコロナ感染の状況を注視しながら、作業療法士、言語聴覚士による家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）を組み立てていきます。
⑫	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		契約時に行っています。	

## 事業所における自己評価結果（公表）

### 児童発達支援

公表：令和2年12月10日

事業所名 生活クラブあのねのお家

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責	③③ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		児童発達支援ガイドラインの内容については個別支援計画の説明時に施設の特徴も合わせて丁寧にご説明しています。「児童発達支援計画」についても支援内容を説明し、同意の署名、押印を頂いています。	
	③④ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		通所の送迎時にお話したり、電話等でいつでも話しやすいよう心掛けております。また連絡帳でお子様の様子、活動内容を伝えながら、親御さんが子育てと一緒に楽しむ仲間と感じ、安心していただけるよう努めています。	言語聴覚士に加え作業療法士も配置いたしましたので、専門分野についてのご相談にも対応できるようになりました。日程調整など気軽にお申込み頂けるようお知らせしてまいります。
	③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	機会として生活クラブ協同村（キャンプ場）での企画や、おやつを試食会を開催し、家族でゲームに参加して頂いたり、子どもたちの日々の活動の様子をプロジェクターで紹介するなど、顔合わせの機会を年間行事の中に計画していますが、現在、新型コロナウイルス感染拡大の様子を注視しつつ見合わせています。その代わりとして、ZOOMを使ってオンライン交流会を7回開催しました。	まだ父母の会の活動はありませんが、希望があれば積極的にご支援できるよう努めます。気軽に参加していただける家族参加の企画を定期的に開催し、年間計画、会報、ホームページ等でお知らせしてまいります。
	③⑥ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	2	来所に限らず電話やメール、メモでもご相談をお受けし、対応できるように努めています。特に送迎をご利用の保護者の方には、お子様の日々の心の変化に細かく対応するため、必要に応じて見学に来て頂いたり、来所された際に様子をお伝えしたり、丁寧な情報共有に努めています。 子様の発達・成長段階をわかりやすく分析し、ご説明できるように視覚認知や構音検査など個々の発達の状況把握に必要な専門的な検査を導入しました。	

## 事業所における自己評価結果（公表）

### 児童発達支援

公表：令和2年12月10日

事業所名 生活クラブあのねのお家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
任 等	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		お便りを発行し、子どもたちが活動している様子を写真で掲載し配布しています。新型コロナウイルス感染拡大の状況をみながら、行事の開催等を進めており、年間予定が定まらずご迷惑をおかけしておりますが、メールなどでお知らせするように努めています。	会報、ホームページでのお知らせやメール配信も活用しながら、活動概要や行事予定について正確にお知らせできるよう改善します。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	7	1	個人に対する情報は取り扱いを厳重にし、会議での共有後は回収し、シュレッダー処理しています。保護者の方々への一斉メールでは、BCCで送信しています。 事務所内の鍵付き書庫を設置して全ての個人情報ファイルを保管しています。使用後の施錠、営業終了時には事務所の出入り口も施錠するなど十分注意して取り扱っています。写真撮影や掲載等、個人情報に関わる部分については事前に保護者の方々に説明・同意を書面でいただいておりますが、ホームページの開設に伴い、さらに同意を徹底してまいります。	
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		お子様には絵カードや写真、ジェスチャー、マカトンサインなど適宜使い分けたり重複してひとり一人に合わせて活用しています。保護者の方には電話やメール、お手紙など複数の方法で情報伝達を行うことでより正確に伝えられるよう努めています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っている	7		発達障がいについての理解と地域での支援をひろげていくために、地域住民の方々へも広報し、施設に明星大学教授の星山麻木氏を迎えて「発達サポーター育星講座」を4回予定していましたがコロナの影響で今年は中止しています。	桜並木通りという施設の好立地を生かして、桜・梨の花まつりに合わせて地域の方を対象にイベントを企画しましたが、コロナ感染の拡大状況をみながら開催を検討します。

## 事業所における自己評価結果（公表）

### 児童発達支援

公表：令和2年12月10日

事業所名 生活クラブあのねのお家

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		<p>コロナ自粛によってお子様の通所が無い時期もあり、一時中断はありましたが、職員の避難訓練は定期的に行っています。</p> <p>各マニュアルは策定し、順次訓練を進めてきました。保護者の方々が手に取りやすいよう図書棚に設置いたしました。</p> <p>応急手当WEB講習を施設として開催し、消防職員の方による小児の心肺蘇生とAED操作訓練を受講しています。防犯訓練は多摩警察にお願いしての実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止対策により延期しています。</p> <p>その他、今年度から送迎を開始したことで、送迎車の運転手は法人が開催する安全運転講習並びに路上運転講習を受講するよう義務付けています。非常警報装置や消火器の定期点検は専門業者に委託し行っています。</p>	
④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		<p>1週間防災訓練の日を設定して、全職員・児童が参加できるようにした また繰り返し行うことにより、課題も 見つかり共有できるようになった 施設全体としては消防署のご指導をいただきながら消火訓練及び避難訓練を実施しました。</p> <p>また消防署防災担当職員の方を講師に迎え「水害等の避難訓練時の着眼点について」をテーマに研修を行い、洪水時の避難確保計画を策定しています。</p> <p>地震、火災、水害を想定した避難訓練・通報訓練などは職員向けと子どもたちと一緒に訓練も合わせて6回実施してきました。</p> <p>またMCA無線を施設に設置し、法人全体として月1回の安全確認の訓練と常勤職員は携帯での安否確認訓練を行っています。</p>	

## 事業所における自己評価結果（公表）

### 児童発達支援

公表：令和2年12月10日

事業所名 生活クラブあのねのお家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	7		てんかん発作のあるお子様は午睡時に起こすことが多いので、タブレットを横に置き、動画を撮って保護者に見て頂くことにしています。 アセスメント時の聞き取りと契約時に独自の医療カードを配布し、記入提出をお願いしています。職員が必ず目を通し、個人ファイルで確認できるように管理しています。	
	④④	食物アレルギーある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされている	該当なし		現在は対象者がいませんが玩具などの制作時に牛乳パックを使わずにジュースのパックを使う等の配慮をしています。 アセスメントシートに詳しく記載して頂き、確認することになっています。 現在、医師の指示所が必要なお子様はいらっしゃいません。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成し事業所内で共有している	6		振り返り時、職員で情報共有し、なぜそうなったかを考える機会としています。 ヒヤリハットが発生したときには迅速に報告書を作成し、共有のために職員回覧し確認印を押して、保管しています。いつでも確認できるようファイルで管理しています。事業会議で毎月の確認事項にしました。	細かい事例も含めて、気軽に報告しやすい雰囲気醸成していきます。
	④⑥	虐待防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	国の手順に従って管理者が虐待防止に関する責任者となり、虐待防止研修を行っています。職員のストレスチェックや相談体制も作り、相談機関の紹介ポスターを掲示しています。管理者が衛生推進者養成講習を修了しています。	今後は講師をお呼びして開催できるよう検討していきます。

## 事業所における自己評価結果（公表）

### 児童発達支援

公表：令和2年12月10日

事業所名 生活クラブあのねのお家

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1	契約時の説明及び支援計画に記載し、説明を行うように改善いたしました。運営規程に身体拘束等の禁止を記載しています。	契約時に強度行動障害支援者の配置についてもご説明しています。職員間の共通認識をより深めるように努めてまいります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。